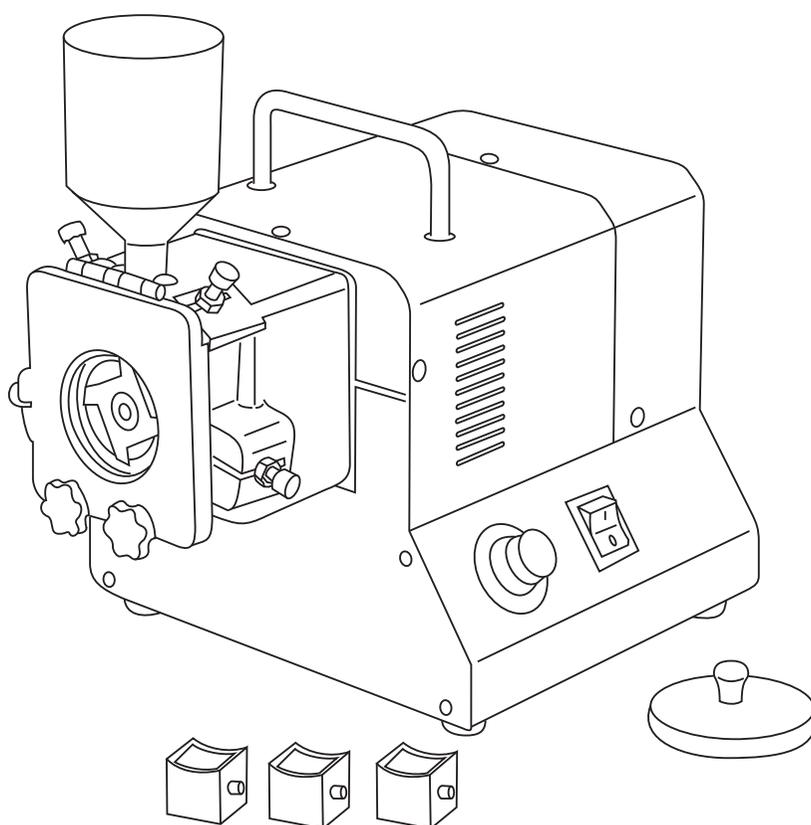


PLASTIC CUTTING MILL

プラスチックカッティングミル

PLC-2M

取扱説明書



PLASTIC CUTTING MILL

プラスチックカッティングミル

この度はプラスチックカッティングミル PLC-2M をご購入頂き誠に有り難うございます。
本機を正しく事故のないようお使い頂く為に、ご使用前に必ずお読み下さいますよう
お願い申し上げます。

[各部名称]

図2 粉碎室

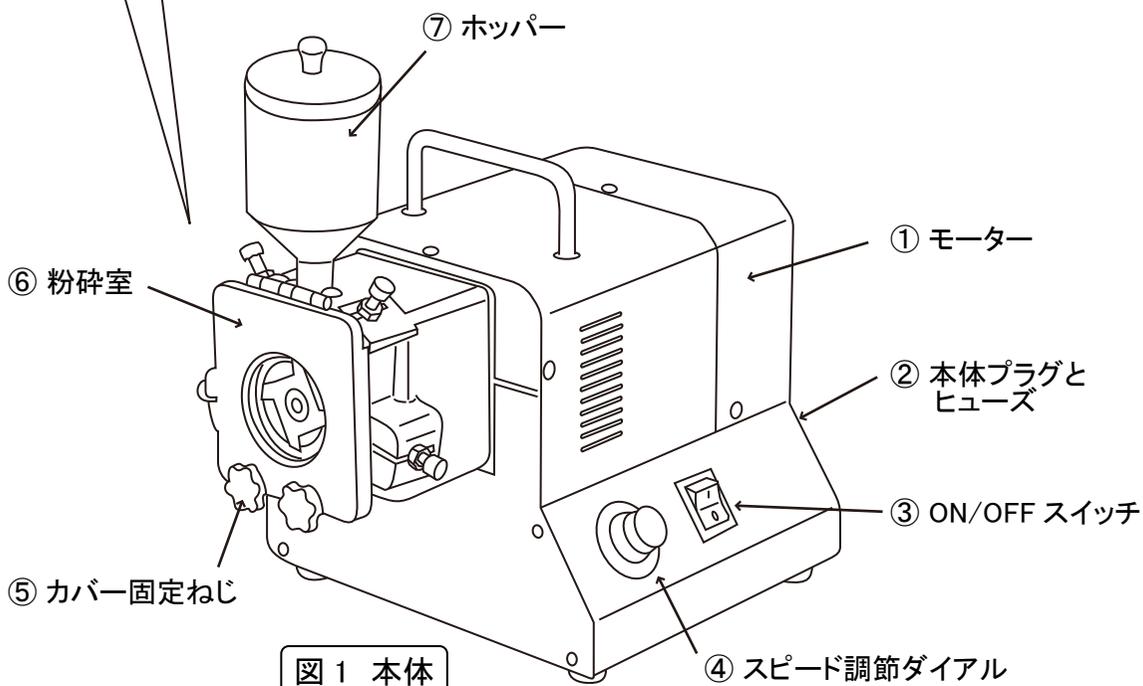
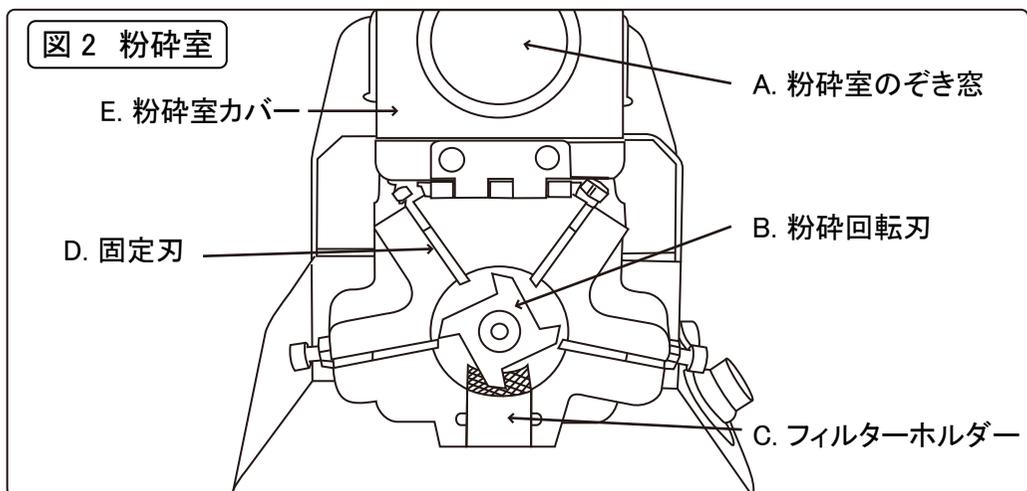


図1 本体

プラスチックカッティングミル (PLC-2M) 仕様

型 式	PLC-2M
サイズ	210 X 290 X 240 mm
電 源	100V, 5A 50/60Hz
電気容量	200W
回転数	0 ~ 3,000 rpm (無負荷時)
重 量	13 kg
付属品	フィルターメッシュ 3 個 (20、40、60 メッシュ)

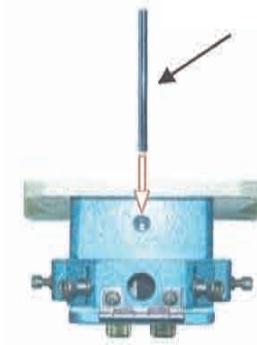
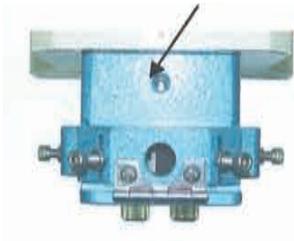
操作方法

1. 図 1 のカバー固定ねじ (⑤) を外し、図 2 の粉碎室カバー (E) を上にあげて、付属のフィルターメッシュをフィルターホルダー (C) にセットして下さい。
2. フィルターをセットし終わったら粉碎室カバーを元に戻し、カバー固定ねじでしっかりと締め付けて下さい。そしてフィルターの下に試料受皿を置いて下さい。
3. ホッパー (⑦) を図 1 のようにセットし、スピード調節ダイヤル (④) を “ZERO” 位置にして下さい。
4. 付属のコードのソケットを本体プラグに差し込み、そして電源プラグを AC100V のコンセントに差し込んで下さい。
5. ON/OFF スイッチ (③) を ON にして下さい。最初はスピード調節ダイヤルを最高速にして作動開始して下さい。
6. 1 ~ 5 の準備が出来たら、ホッパー (⑦) の中に試料を入れて下さい。この時一度にたくさんの試料を入れしないで下さい。詰まりの原因になります。少しずつ様子を見ながら投入するようにして下さい。
7. 粉碎が終わったらスピード調整ダイヤルを “ZERO” 位置に戻して、ON/OFF スイッチを OFF にして電源プラグを外して下さい。
8. 作業が終わったら粉碎室カバーを開け、フィルターメッシュを取り出し、粉碎室をブロー噴射やブラシ等できれいに清掃して下さい。

カッティングヘッドの外し方と取り付け方

この作業の時は安全のために、電源プラグをコンセントから抜いておいて下さい。

1. カッティングヘッドを手で動かし、シャフトの丸い窪みがトップの穴に合うようにして下さい。備え付けの工具から丸い棒を外し（六角ネジで固定してあります）、この丸い棒をトップの穴に差し込み、シャフトが回らないようにして下さい。この棒は一連の作業が終わるまで抜かないで下さい。



2. 粉碎室のフタを開け、カッティングヘッドのスクリューを緩め、外して下さい。

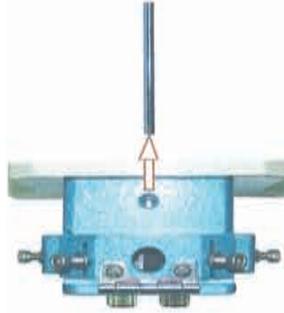
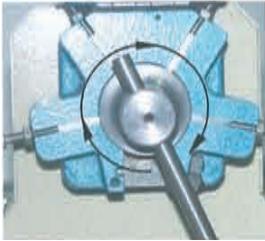


3. 備え付けの工具をカッティングヘッドに被せるように挟み込み、左に回して下さい。回し続けるとカッティングヘッドが外れます。



粉碎室やカッティングヘッドの清掃を行うことができます。

4. カuttingヘッドのメスネジとシャフトのオスネジを合わせて下さい。
次に備え付けの工具でカuttingヘッドを挟み、右へ回してしっかりと締め付けて下さい。
その後スクリューを取り付けて下さい。粉碎室のフタを閉じ、全てがしっかり取り付けられているのを確認して下さい。



最後に丸い棒を穴から抜いて下さい。

使用上の注意

1. 本機は平らで頑丈なテーブルの上に置いて使用して下さい。
2. 本機は埃や湿気を避けて保管して下さい。
3. 粉碎中、試料がフィルターメッシュを通らず粉碎室に詰まってしまう場合は、ON/OFFスイッチをOFFにして、電源プラグを外し、粉碎室から試料を一旦取り除いて下さい。同時にフィルターメッシュも清掃して下さい。
4. 試料をホッパーに入れる前にモーターが作動している事を必ず確認して下さい。そして、初めはスピード調節ダイヤルを最高スピードにし、その後試料によりスピードダイヤルを調整して下さい。
5. ホッパーに試料を投入したら、必ずホッパーにフタをして下さい。回転刃が高速で回っていますので、投入された試料をホッパー外まで弾く勢いがあります。
6. ホッパーの間近に顔や手を晒さないで下さい。試料が飛んで顔や手にあたり怪我をする恐れがあります。
7. 静電気を帯びるプラスチックや湿気のある試料は、フィルターの目が細かい場合、粉碎されていても試料がフィルターの網目に付着し詰まってしまう場合がございます。その際には粗めのフィルターに交換して下さい。
8. 試料が粉碎室に溜まったまま運転を続けると摩擦熱が発生し、モーターに負荷がかかってモーターが止まる原因となります。
9. 試料が粉碎室と回転刃に挟まり、回転刃が動かなくなった場合にはスイッチを切って、コンセントから電源プラグを外し、粉碎室カバーを開けて、専用工具で回転刃を右回しに回し、詰まった試料を取り除いて下さい。

◎上記の注意事項を怠ると事故につながったり、満足な試料作成が出来ない場合がございますので、必ず守って頂きますようお願い申し上げます。



ラボ用輸入機材専門メーカー

大阪ケミカル株式会社

〒530-0045

大阪府大阪市北区天神西町 5-17 アクティ南森町 2F

TEL 06-6311-1050 FAX 06-6311-1070

E-mail: info@daichem.co.jp

<http://www.daichem.co.jp>